

令和 6 年度 第 3 回社会教育委員会 会議録

開催日時	令和 6 年 10 月 11 日 金曜日 13 時 30 分から 14 時 40 分まで
開催場所	二宮町生涯学習センターラディアン ミーティングルーム 1
出席者	和田智司教育長、久保田秀実委員長、橋本由恵副委員長、 石黒賢路委員、稲葉通隆委員、関口金由紀委員、中西美保委員、 三宅栄子委員
欠席者	市川葉子委員
事務局	椎野教育部長、山下生涯学習課長、二見生涯学習班長、 井上スポーツ推進班長、込山図書館班長
その他	傍聴者 0 名

1. 開 会

2. あいさつ

3. 議 題

(1) 生涯学習課事業報告について

(事務局)

先日の台風では、ご存知の通り県道が冠水する被害があった。調整池であるラディアン裏手のテニスコートは満水となったが、そこから溢れることはなく、水は半日程度でひいた。しかし、山からの水が入ってきているために土砂が混ざっており、清掃の必要があった。

業者に発注すると作業まで 2～3 週間、金額も 20 万円程度かかってしまうため、高圧洗浄機を使い、職員で清掃を行った。緑が丘のテニスコートも 2m ほど水位が上がり、土砂が入ったため、同様に職員で清掃を行い、利用者サービスに努めた。

山西プールは気候変動や学校の水泳授業のために開設期間を延長していたが、山を背負っているため、同様に土砂が流入してしまった。衛生上の問題もあるため、すぐに排水し水を入れ替えることとしたが、施設の仕組みとして、一度受水槽に水をためてからでないとプールに入れることが出来ないため、数日かかってしまった。

今後大規模改修を行う際には受水槽をコンパクトにすることや、受水槽を介さない直管方式への変更など、管理もしやすくなるよう検討していく。

なお、山西プールは今年初めて開設期間を延長した。9 月に入ってから 1

日あたりの利用者は 50～60 人程度だが、これを毎年続けていき、開設期間が浸透していけば、利用者も増えていくと考えている。

また、6 月も暑くなっているので、利用者のニーズを把握しながら、開設期間についても検討していく。

他の施設での台風被害では、ラディアンで小規模の雨漏りがあったが、浸水被害はなかった。町立体育館では職員が元々 1 名で勤務しており、当日の朝は道路が大渋滞したため、体育館に辿り着くことができず、午前中休館となった。運動場はがけ崩れ等の被害もなかった。

(委員)

プールに土砂が流れ込んだとのことで、排水後の消毒は業者に依頼したのか。

(事務局)

清掃は監視員が行った。水をはった後には水質検査を行い、検査をクリアした上で再開している。

(委員)

避難所の町民センターの雨漏りがひどかったという話を聞いたが、詳細は分かるか。

(事務局)

詳細は把握していないが、町民センターも老朽化が進んでおり、臨時の避難所になっていた老人クラブ室も雨漏りしたと聞いている。

(委員)

図書館で星槎学園と二宮西中学校から職業体験で生徒が来ていたとのことだが、その時の様子など教えてほしい。

(事務局)

星槎学園については 7 月 23～25 日の 3 日間で受け入れを行った。この中で、展示する本を選び、見出しとなるような表示を作ってもらい、「私たちがお勧めしたい本」という展示を行った。他にも図書館の本にフィルムをかける「装備」や、本を移動させる作業の体験を行った。また、24 日にはブックスタート事業があったため、見学をしてもらった。

二宮西中学校については 8 月 28 日に 2 名、8 月 30 日に 4 名を受入れ予定であったが、30 日は台風の影響で警報が出たことから中止となった。9 月 13 日

に、半日となったが予定を振り替えて受入れた。二宮西中学校の生徒にも、おすすめの本を選んでもらい、現在展示をしている。

(委員)

生徒から感想などはあったか。

(事務局)

図書館業務のイメージとして、カウンターでの貸出業務があったようだが、実際に雑誌のバックナンバーの並び替えや、2階の棚にある本を地下の書庫に移動するためにリストの本を抜き取るといった作業をしてもらったところ、「思いのほか重労働だった」や「見えない仕事がいっぱいあることを知った」という感想があった。

二宮西中学校の生徒からはお礼の手紙も届いており、今後の経験になれば良いと思うので、引き続き受け入れは行っていく。

(委員)

青少年問題協議会や愛のパトロールの実施結果などを教えてもらいたい。

(事務局)

青少年問題協議会は町長、教育長、小学校長、中学校長、二宮高等学校長、地区長連絡協議会代表、民生委員児童委員協議会代表、大磯警察署長、青少年指導員連絡協議会長で構成されており、夏休みを目前に控え、青少年の非行の状況や、各学校での指導など情報交換をすることにより、各団体の今後の活動に役立ててもらおう場となっている。

愛のパトロールについては、夜間にパトロールを行い、出歩いている青少年に声掛けを行うことによって、非行の防止を図るという事業であった。しかし、近年は塾や習い事など子供の生活も変わってきており、夜間に歩いている青少年もいないため、今年度は初めて、夕方の愛の鐘が鳴る時間に合わせて実施し、地域の方の見守りという形で事業を行った。

(委員)

町民大学講座だが、今年は夏の暑い気候も影響してか、夏季は参加者が集まりにくかったように感じている。

8月にはボッチャ講座を行い、そこに目の見えない方が参加してくれた。また、子どもの集客を狙っても集めるのが難しい中で、家紋の講座では小学生が何人か参加してくれ、企画した側としては嬉しく感じている。

(委員)

30 人募集で 20 人前後申し込みがあるのは盛況だと思う。

(事務局)

事業計画だが、ふたみ記念館は今まで年に一度の展示替えだった。他の美術館では年に数回展示替えを行っているが、ふたみ記念館はボランティアにお手伝いをいただいているため、複数回行うことは難しい。だが、集客につなげていく方法として、せめて年 2 回行おうということで、ボランティアと協力しながら実施していく。

スポーツ協会が主催するスポーツフェスティバルは今までの町民体育祭とは違い、選手を地区から選出してもらうのではなく、自主的に参加するイベントだが、毎年 800 人ほどが参加する盛況なイベントである。幼児や小学生なども多く参加するため、生涯学習課としても積極的に支援していく。

子育連ののっこデイキャンプについては、当初の計画では南足柄市の施設を利用してのイベントを計画していたが、毎年役員が変わり負担があることと、町内にも東大果樹園跡地という自然豊かな場所があり、そこを使って子供たちに経験をさせてあげたいという気持ちから、内容が変更になった。

(委員)

ふたみ記念館で子供たちの作品を展示しているのか？

(事務局)

子ども作品展として、町内 5 校の小中学校の他、二宮高校や星槎学園、保育園・幼稚園にも呼びかけを行い、希望する場合は作品の展示を行っている。

(委員)

現在は一色小学校の全学年の作品が 10 月 20 日まで展示されている。

(委員)

保護者への PR を考えた方が良い。

(事務局)

保護者には、学校を通じて案内を渡している。PR 方法については、さらに検討する。

(委員)

ふたみ記念館は展示作品だけではなく、建物も素晴らしいので、着眼点を变えてアピールするのも良いと思う。

(事務局)

ふたみ記念館については、昨年動画を作成して YouTube に掲載した。展示作品紹介だが、作品の全体像ではなく、一部を写すことで、より興味を持ってもらうことが狙いだ。再生数もあがっているため、引き続き活用しながら集客を目指していく。

(2) 生涯学習センターリニューアル基本設計パブリックコメントの概要について

(事務局)

パブコメは7月いっぱい188件の意見が集まった。今回はその概要版であり、詳細な回答は今後施設再編課で公表していく。

なお、パブコメ以降も移動町長室での意見や9月議会で2名の議員から一般質問があった。今後はこういった意見を踏まえながら、来年度の実施設設計にて、変更箇所やそのままの形にするところなど、検討しながら社会教育委員会の場でも意見をいただいて進めていく。

(委員)

パブコメにて出された意見には一つ一つ回答し、それを集約したものがホームページで公表されるということか。

(事務局)

その通り。

(3) その他

(委員)

県社教連理事会に参加したので、簡単に報告をさせていただく。

現在、県理事会での中心議題が、来年度に神奈川県で開催される関東甲信越静の社会教育大会についてである。

実際に大会を行う関内ホールがここで予約することができたということで、その他の部会の会場などはこれから確保していくこととなる。

また、あらためて報告させていただくが、県内5自治体に事例発表をして欲

しいという話がある。2自治体は決まりそうだが、他はこれからのため、当町にまわってくる可能性もゼロではないということをお含みおきいただきたい。

もう一つ、地区研究会が11月2日に海老名市で、年が明けて2月4日に大磯町で開催されるため、出席できる方はご予約をいただきたい。

(事務局)

本日、山西小学校で放課後こども教室が開催されており、委員の皆様には、実際にご覧いただきたいと考えている。

昨年度子ども家庭庁が設立され、子ども真ん中の取り組みが展開されている。生涯学習課としても、この事業を重点に捉えており、事業の実態を皆様にご覧いただき、11月の会議にてご意見をいただきたいと考えている。

特に二宮小学校や山西小学校は施設のキャパシティの関係で全児童の内、半数ずつしか参加することができず、またサポーターの確保など課題があるため、持続可能な事業としていくために、改善方法を検討していく。

あわせて、本日、子ども作品展が開催されているふたみ記念館も実際にご覧いただきたいと考えている。

4. 閉 会